

平成28年度事務事業評価シート

平成28年6月30日作成

事業番号	58		担当課等		観光課					
事務事業名	光風荘運営助成金									
予算科目コード	会計	01	款	02	項	01	目	12	事業開始年度	平成 17 年度

1 事業概要(平成28年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細 施 策
P36 ゆがわら2011プラン 後 期 基 本 計 画	1 魅力と活力にあふれるにぎわいのあるまちづくり	I 基幹産業の振興	1 観光	(4) 観光情報発信の活性化、観光宣伝の強化	③ 拠点観光スポットの整備・活用
関連する個別計画					
目 的	観光資源(2・26事件のうち国内唯一の地方現場の光風荘)の存続・保存				
対 象	来館者				
内 容	観光ボランティアから来館者への史実の説明及びおもてなし。 —なお、光風荘保存会は5万人達成記念行事として、式典(記念品贈呈)を考えている。				

2 実施結果

(単位 円)

コスト	区 分		平成26年度(決算)	平成27年度(決算)	平成28年度(見込)		
	事業費		500,000	564,000	572,000		
	人件費	常勤職員	329,950	313,540	308,420		
		非常勤職員等					
		人件費合計	329,950	313,540	308,420		
	総事業費		829,950	877,540	880,420		
財源内訳	国庫支出金						
	県支出金						
	地方債						
	その他特定財源						
	一般財源		829,950	877,540	880,420		
	財源合計		829,950	877,540	880,420		
活動指標			指標設定の理由・考え方	単位	平成26年度	平成27年度	目標値
観光ボランティア活動員累計			観光案内実績	人	447	554	600
光風荘保存会会員数			観光資源の保存	人	57	44	50
成果指標			指標設定の理由・考え方	単位	平成26年度	平成27年度	目標値
来園者数			観光振興	人	2,975	4,091	4,000

3 平成27年度までの事業分析及び改善点

評 価 5段階とその理由を記入(A:高い B:やや高い C:普通 D:やや低い E:低い)			
必 要 性	町が実施する必要があるのか	A	2・26事件のうち国内唯一の地方現場である光風荘は、歴史的観光資源として存続・保存するため、町が助成する必要がある。
効 率 性	投入した費用に見合った効果が得られているか	A	観光ボランティアにより史実の説明を行うことにより、歴史的観光資源の周知につながっている。
有 効 性	事業の目的に対して成果が得られているか	A	年間約4,000人の来館者があり、歴史的建造物の観光資源化の取組みの成果が得られている。
公 平 性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	A	町の振興につながるため、受益の機会は均等である。

平成27年度までの改善点	第1展示室エアコンを修理した。
--------------	-----------------

4 見直し及び改善

平成28年度の見直し及び改善 (実績または予定)	第2展示室床板の腐食部分を修理した。 来館者5万人達成記念行事の開催を予定している。
平成29年度以降の方向性	平成29年度以降も、光風荘の所有者から引き続き借用できるように、光風荘保存会と協議し、多くの来館者に訪問される施設として事業を継続していきたい。

5 一次評価(平成29年度以降の方向性に対する評価)

総 合 評 価	継続(現状維持)	観光資源として、重要であることから、事業を継続すること。
---------	----------	------------------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

・観光資源として重要であることから、事業継続が必要。

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総 合 評 価	継続(現状維持)	
---------	----------	--

平成28年度事務事業評価シート

平成28年6月30日作成

事業番号	661	担当課等	観光課									
事務事業名	梅基金積立金											
予算科目コード	会計	01	款	06	項	01	目	02	事業開始年度	平成	7	年度

1 事業概要(平成28年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策
P34 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	1 魅力と活力にあふれるにぎわいのあるまちづくり	I 基幹産業の振興	1 観光	(1) 観光資源の拡充・整備	① イベントの充実
関連する個別計画					
目的	湯河原梅林の保護育成・整備事業の財源とするための積立金。				
対象	町民・観光客				
内容	梅の宴行事開催中、募金箱を設置し、寄付を募り、湯河原梅林の保護・育成に活用している。				

2 実施結果

(単位 円)

コスト	区 分		平成26年度(決算)	平成27年度(決算)	平成28年度(見込)		
	事業費		118,837	66,523	200,000		
	人件費	常勤職員	241,500	228,570	224,820		
		非常勤職員等					
		人件費合計	241,500	228,570	224,820		
	総事業費		360,337	295,093	424,820		
財源内訳	国庫支出金						
	県支出金						
	地方債						
	その他特定財源						
	一般財源		360,337	295,093	424,820		
	財源合計		360,337	295,093	424,820		
活動指標			指標設定の理由・考え方	単位	平成26年度	平成27年度	目標値
梅基金寄付金			決算	円	118,837	66,523	200,000
成果指標			指標設定の理由・考え方	単位	平成26年度	平成27年度	目標値

3 平成27年度までの事業分析及び改善点

評 価 5段階とその理由を記入(A:高い B:やや高い C:普通 D:やや低い E:低い)			
必 要 性	町が実施する必要があるのか	A	湯河原梅林という貴重な共有財産を次世代に引き継ぐためにも、町が実施する必要と責任がある。
効 率 性	投入した費用に見合った効果が得られているか	C	
有 効 性	事業の目的に対して成果が得られているか	D	梅の宴の来場者数と比例するため、来場者が少ないと成果が低いと思われる。
公 平 性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	A	受益の機会は均等である。
平成27年度までの改善点			

4 見直し及び改善

平成28年度の見直し及び改善 (実績または予定)	梅の宴開催期間中に募金箱を設置。 湯河原町で開催される梅サミットにおいてウメ輪紋ウイルス(プラムポックスウイルス(PPV))対策について議題予定。 梅林を観光資源として保護育成することの重要性について再認識する機会となるため、梅基金についても積極的に寄付金を募る方策を検討したい。
平成29年度以降の方向性	梅PPV対策の観点からも、湯河原梅林という貴重な共有財産を次世代に引き継ぐためにも、継続して実施する必要がある。

5 一次評価(平成29年度以降の方向性に対する評価)

総 合 評 価	継続(現状維持)	湯河原梅林という貴重な共有財産を次世代に引き継ぐためにも、町が実施する必要がある。
---------	----------	---

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

・特になし

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総 合 評 価	継続(現状維持)	
---------	----------	--

平成28年度事務事業評価シート

平成28年6月30日作成

事業番号	1108	担当課等		観光課							
事務事業名	花菖蒲管理事業										
予算科目コード	会計	01	款	06	項	01	目	02	事業開始年度	平成	年度

1 事業概要(平成28年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策
P34 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	1 魅力と活力にあふれるにぎわいのあるまちづくり	I 基幹産業の振興	1 観光	(1) 観光資源の拡充・整備	① イベントの充実
関連する個別計画					
目的	花菖蒲展を開催し、観光客の増加を図る。				
対象	観光客				
内容	ほたるの宴と同時期に花菖蒲展を開催し、観光客の増加を図る。 年間を通して、花菖蒲の育成を行う。				

2 実施結果

(単位 円)

コスト	区 分		平成26年度(決算)	平成27年度(決算)	平成28年度(見込)		
	事業費		900,000	900,000	900,000		
	人件費	常勤職員	402,500	380,950	374,700		
		非常勤職員等					
		人件費合計	402,500	380,950	374,700		
	総事業費		1,302,500	1,280,950	1,274,700		
財源内訳	国庫支出金						
	県支出金						
	地方債						
	その他特定財源						
	一般財源		1,302,500	1,280,950	1,274,700		
	財源合計		1,302,500	1,280,950	1,274,700		
活動指標			指標設定の理由・考え方	単位	平成26年度	平成27年度	目標値
花菖蒲展開催日数			観光イベントの充実	日	14	14	13
成果指標			指標設定の理由・考え方	単位	平成26年度	平成27年度	目標値
花菖蒲展来場者数			観光客の誘致	人	7,356	7,200	7,670

3 平成27年度までの事業分析及び改善点

評 価 5段階とその理由を記入(A:高い B:やや高い C:普通 D:やや低い E:低い)			
必 要 性	町が実施する必要があるのか	D	同時期に開催している、ほたるの宴において、十分に誘客をはかることが可能である。
効 率 性	投入した費用に見合った効果が得られているか	D	花菖蒲展は期間限定の行事であるが、花菖蒲の育成には、年間を通した作業が必要である
有 効 性	事業の目的に対して成果が得られているか	D	同時期に開催している、ほたるの宴において、十分に誘客をはかることが可能であり、花菖蒲展だけの誘客効果となると低いと思われる。
公 平 性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	A	受益の機会は均等である。

平成27年度までの改善点	
--------------	--

4 見直し及び改善

平成28年度の見直し及び改善 (実績または予定)	
平成29年度以降の方向性	同時期のほたるの宴で誘客を図ることができ、また、花菖蒲の育成管理における年間を通したランニングコストを勘案すると、今後、継続する必要はないと考える。

5 一次評価(平成29年度以降の方向性に対する評価)

総 合 評 価	廃止・中止	同時期のほたるの宴で誘客を図ることができ、また、花菖蒲の育成管理における年間を通したランニングコストを勘案すると、今後、継続する必要はないと考える。
---------	-------	--

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

・特になし

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総 合 評 価	廃止・中止	
---------	-------	--

平成28年度事務事業評価シート

平成28年6月30日作成

事業番号	1109		担当課等		観光課						
事務事業名	万葉亭運営事業										
予算科目コード	会計	01	款	06	項	01	目	02	事業開始年度	平成	年度

1 事業概要(平成28年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策
P34 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	1 魅力と活力にあふれるにぎわいのあるまちづくり	I 基幹産業の振興	1 観光	(1) 観光資源の拡充・整備	① イベントの充実
関連する個別計画					
目的	万葉公園入口の茶室「万葉亭」の運営管理事業				
対象	観光客				
内容	万葉公園入口にある茶室万葉亭を運営し、万葉公園来園者へ抹茶とお茶の提供 大手旅行業者と連携し、オプション商品の一つとする。				

2 実施結果

(単位 円)

コスト	区 分		平成26年度(決算)	平成27年度(決算)	平成28年度(見込)		
	事業費		900,000	900,000	900,000		
	人件費	常勤職員	402,500	380,950	374,700		
		非常勤職員等					
		人件費合計	402,500	380,950	374,700		
	総事業費		1,302,500	1,280,950	1,274,700		
財源内訳	国庫支出金						
	県支出金						
	地方債						
	その他特定財源						
	一般財源		1,302,500	1,280,950	1,274,700		
	財源合計		1,302,500	1,280,950	1,274,700		
活動指標			指標設定の理由・考え方	単位	平成26年度	平成27年度	目標値
開館日数			イベント・祭事の充実	日	256	257	256
成果指標			指標設定の理由・考え方	単位	平成26年度	平成27年度	目標値
来園者数			観光客の誘致	人	2,004	2,425	2,500

3 平成27年度までの事業分析及び改善点

評 価 5段階とその理由を記入(A:高い B:やや高い C:普通 D:やや低い E:低い)			
必 要 性	町が実施する必要があるのか	B	観光客数が低迷している現状を踏まえ、観光を基幹産業とする本町においては、町が観光協会と連携し、本事業を実施する必要がある。
効 率 性	投入した費用に見合った効果が得られているか	C	大手旅行業者との連携により効率的に事業展開できている。
有 効 性	事業の目的に対して成果が得られているか	B	大手旅行業者との連携により、来園者数は、2000人以上を確保できている。今後、さらに外国人旅行者が増えると思われるので、日本文化を体験できる本事業は誘客に期待がもてる。
公 平 性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	A	受益の機会均等である。
平成27年度までの改善点			

4 見直し及び改善

平成28年度の見直し及び改善 (実績または予定)	外国人旅行者が増えているため、日本文化が体験できるコンテンツとして、オプション商品に組み込むことにより、利用増につなげたい。
平成29年度以降の方向性	引き続き、大手旅行業者と連携し、オプション商品として販売する。 また、外国人旅行者へ、日本文化を体験できるコンテンツとして、情報発信していく。

5 一次評価(平成29年度以降の方向性に対する評価)

総 合 評 価	継続(現状維持)	今後、間違いなく増えるであろう外国人旅行者へ向けて、販路を開拓することにより、さらなる誘客を目指すこと。
---------	----------	--

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

・特になし

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総 合 評 価	継続(現状維持)	
---------	----------	--

平成28年度事務事業評価シート

平成28年6月30日作成

事業番号	1126	担当課等	観光課							
事務事業名	さつきの郷誘客事業									
予算科目コード	会計	01	款	06	項	01	目	02	事業開始年度	平成 15 年度

1 事業概要(平成28年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細 施 策
P34 ゆがわら2011プラン 後 期 基 本 計 画	1 魅力と活力にあふれるにぎわいのあるまちづくり	I 基幹産業の振興	1 観光	(1) 観光資源の拡充・整備	①⑤ ①イベントの充実 ⑤観光資源の発掘と情報の収集・提供
関連する個別計画					
目 的	四季彩のまちを具現化する場所の一つとして、さつきの郷の開花に合わせ、誘客を図るもの。				
対 象	観光客				
内 容	星ヶ山公園さつきの郷観光宣伝チラシの作成(30,000枚)をする。 星ヶ山公園さつきの郷行事期間中の交通整理員等の委託業務。				

2 実施結果

(単位 円)

コスト	区 分		平成26年度(決算)	平成27年度(決算)	平成28年度(見込)		
	事業費		507,600	507,600	516,024		
	人件費	常勤職員	1,207,500	1,142,850	1,124,100		
		非常勤職員等					
		人件費合計	1,207,500	1,142,850	1,124,100		
	総事業費		1,715,100	1,650,450	1,640,124		
財源内訳	国庫支出金						
	県支出金						
	地方債						
	その他特定財源						
	一般財源		1,715,100	1,650,450	1,640,124		
	財源合計		1,715,100	1,650,450	1,640,124		
活動指標			指標設定の理由・考え方	単位	平成26年度	平成27年度	目標値
チラシ配布数			広報	部	30,000	30,000	30,000
成果指標			指標設定の理由・考え方	単位	平成26年度	平成27年度	目標値
来場者数			観光客の誘致	人	4,037	4,395	5,000

3 平成27年度までの事業分析及び改善点

評 価 5段階とその理由を記入(A:高い B:やや高い C:普通 D:やや低い E:低い)			
必 要 性	町が実施する必要があるのか	B	観光客を誘致し、観光振興の発展に寄与しているため。
効 率 性	投入した費用に見合った効果が得られているか	B	さつきの郷には、町内外から来場されており、一定の集客・消費拡大につながっている。
有 効 性	事業の目的に対して成果が得られているか	B	地場製品の販売、消費拡大など一定の観光振興につながっている。
公 平 性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	A	受益の機会均等である。

平成27年度までの改善点	梅雨の時期のため、天候及び花の開花状況によって来場者数が大きく左右される状況にあるが、事業の広報の仕方について、検討、改善した。
--------------	--

4 見直し及び改善

平成28年度の見直し及び改善 (実績または予定)	
平成29年度以降の方向性	四季彩のまちを具現化する場所として、眺望も良く、湯河原町にとって貴重な観光資源である。SNSを利用した情報発信、開花情報のリアルタイムで発信することなど、効果的な情報発信の方法について検討する。

5 一次評価(平成29年度以降の方向性に対する評価)

総 合 評 価	継続(現状維持)	四季彩のまちを具現化する場所として、行事を継続し、効果的な情報発信について検討していくこと。
---------	----------	--

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

・天体観測など、星が山全体の利用を検討する必要がある。

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総 合 評 価	継続(現状維持)	
---------	----------	--

平成28年度事務事業評価シート

平成28年6月30日作成

事業番号	1235	担当課等	観光課							
事務事業名	観光親善交流事業									
予算科目コード	会計	01	款	06	項	01	目	02	事業開始年度	平成 28 年度

1 事業概要(平成28年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策
P34 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	1 魅力と活力にあふれるにぎわいのあるまちづくり	I 基幹産業の振興	1 観光	(1) 観光資源の拡充・整備	① イベントの充実
関連する個別計画					
目的	文化交流都市提携をしている豊島区との交流や、全国梅サミット協議会加盟市町である青梅市と相互交流を実施することにより、親善交流を推進するもの。				
対象	豊島区・青梅市				
内容	豊島区及び青梅市の観光キャラバン・物産展に参加する。 湯河原温泉へ豊島区民、青梅市民が宿泊する際その費用を助成する。				

2 実施結果

(単位 円)

コスト	区 分		平成26年度(決算)	平成27年度(決算)	平成28年度(見込)		
	事業費		0	15,000	300,000		
	人件費	常勤職員	402,500	380,950	374,700		
		非常勤職員等					
		人件費合計	402,500	380,950	374,700		
	総事業費		402,500	395,950	674,700		
財源内訳	国庫支出金						
	県支出金						
	地方債						
	その他特定財源						
	一般財源		402,500	395,950	674,700		
	財源合計		402,500	395,950	674,700		
活動指標			指標設定の理由・考え方	単位	平成26年度	平成27年度	目標値
物産展等への参加			親善交流の推進	回	5	5	10
成果指標			指標設定の理由・考え方	単位	平成26年度	平成27年度	目標値
宿泊助成人数			親善交流の推進	人	10	62	100

3 平成27年度までの事業分析及び改善点

評 価 5段階とその理由を記入(A:高い B:やや高い C:普通 D:やや低い E:低い)			
必 要 性	町が実施する必要があるのか	A	観光客数が低迷している現状を踏まえ、観光を基幹産業とする本町においては、町が積極的に親善都市や全国梅サミット加盟市町と文化や観光面での交流を活発化する必要がある。
効 率 性	投入した費用に見合った効果が得られているか	B	豊島区、青梅市とは、文化、観光面で相互交流促進されている。
有 効 性	事業の目的に対して成果が得られているか	B	観光キャラバンの実施や美術館の文化交流などにより、来訪者が増加することもあるため、一定の成果があると考えられる。
公 平 性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	A	受益の機会は均等である。

平成27年度までの改善点	
--------------	--

4 見直し及び改善

平成28年度の見直し及び改善 (実績または予定)	豊島区及び青梅市において、観光PRを実施。 宿泊助成制度の周知により、湯河原への来訪者の増加を図る。
平成29年度以降の方向性	豊島区及び青梅市以外の全国梅サミット協議会加盟市町、圏央道沿線市町に対し観光親善交流の展開を検討。

5 一次評価(平成29年度以降の方向性に対する評価)

総 合 評 価	継続(現状維持)	誘客が期待できる本事業を継続して実施する必要がある。
---------	----------	----------------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

・特になし

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総 合 評 価	継続(現状維持)	
---------	----------	--

平成28年度事務事業評価シート

平成28年6月30日作成

事業番号	861	担当課等	観光課							
事務事業名	観光会館改修事業									
予算科目コード	会計	01	款	06	項	01	目	05	事業開始年度	平成 26 年度

1 事業概要(平成28年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策
P35 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	1 魅力と活力にあふれるにぎわいのあるまちづくり	I 基幹産業の振興	1 観光	(2) 観光施設の整備・充実、個性化	② 観光施設の活用
関連する個別計画	湯河原町観光立町推進計画				
目的	指定管理者との協定に基づき、観光会館各所の老朽化に伴い、修繕を行うもの。(1件あたりの金額は、他の指定管理者と同様に20万円以上)				
対象	会館利用者				
内容	非常照明設備等修繕				

2 実施結果

(単位 円)

区分	平成26年度(決算)		平成27年度(決算)		平成28年度(見込)	
	事業費	12,758,040	4,545,720	254,000		
コスト	人件費	989,850	940,620	925,260		
	非常勤職員等					
	人件費合計	989,850	940,620	925,260		
	総事業費	13,747,890	5,486,340	1,179,260		
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源	13,747,890	5,486,340	1,179,260		
	財源合計	13,747,890	5,486,340	1,179,260		
活動指標		指標設定の理由・考え方	単位	平成26年度	平成27年度	目標値
観光入込数(日帰り・宿泊計)		利用実績	千人	3,634	3,109	3,743
成果指標		指標設定の理由・考え方	単位	平成26年度	平成27年度	目標値
駐車台数			台	13,780	14,931	15,000
会議室使用件数			件	149	131	150

3 平成27年度までの事業分析及び改善点

評 価 5段階とその理由を記入(A:高い B:やや高い C:普通 D:やや低い E:低い)			
必 要 性	町が実施する必要があるのか	A	町の観光の中心施設である観光会館は、町が整備する必要がある。
効 率 性	投入した費用に見合った効果が得られているか	A	観光会館を整備することにより、安全・安心に利用できる。
有 効 性	事業の目的に対して成果が得られているか	A	指定管理者制度により(一社)湯河原観光協会が運営することにより、民間活力の導入となっている。
公 平 性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	A	受益の機会は均等である。

平成27年度までの改善点	次の事業を竣工し改善した。 平成26年度、カーテンウォール改修工事(8,932千円)・2階トイレ改修工事(2,106千円)・消防用設備改修工事等(1,720千円) 平成27年度、3階トイレ改修工事(2,743千円)・変電室改修工事(723千円)
--------------	--

4 見直し及び改善

平成28年度の見直し及び改善 (実績または予定)	非常照明器具の交換修繕等の予定
平成29年度以降の方向性	平成29年度以降も、指定管理者である(一社)湯河原温泉観光協会と協議し、観光会館改修事業を継続していきたい。

5 一次評価(平成29年度以降の方向性に対する評価)

総 合 評 価	継続(現状維持)	観光会館の将来のあり方も視野に入れ、引き続き必要な改修を行い、利用者の利便性をさらに図りたい。
---------	----------	---

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

・将来の整備計画について、観光戦略と併せて検討すること。

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総 合 評 価	継続(見直し)	将来の整備計画を策定する必要がある。
---------	---------	--------------------

平成28年度事務事業評価シート

平成28年6月30日作成

事業番号	241	担当課等		観光課							
事務事業名	商工業振興事業補助金										
予算科目コード	会計	01	款	06	項	02	目	02	事業開始年度	平成	年度

1 事業概要(平成28年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策
P41 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	1 魅力と活力にあふれるにぎわいのあるまちづくり	Ⅱ 地域産業の振興	1 商業・サービス業	(2) 団体活動の活性化と人材育成	① 商工業関連団体間の提携・交流強化
関連する個別計画					
目的	地域商工業の活性化を図る。				
対象	町内商工業者				
内容	地域商工業の活性化を図るため、次の事業に助成金を交付する。 ・産業祭等事業…地域産業の振興に寄与する産業祭。 ・商業振興事業…商店街連合会と協力し、商店の掘り起こしを図る。 ・工業振興事業…リフォームお助け隊事業等の工業の振興を展開する。				

2 実施結果

(単位 円)

コスト	区 分		平成26年度(決算)	平成27年度(決算)		平成28年度(見込)		
	事業費		850,000	850,000	850,000			
	人件費	常勤職員	805,000	761,900	749,400			
		非常勤職員等						
		人件費合計	805,000	761,900	749,400			
	総事業費		1,655,000	1,611,900	1,599,400			
財源内訳	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他特定財源							
	一般財源		1,655,000	1,611,900	1,599,400			
	財源合計		1,655,000	1,611,900	1,599,400			
活動指標			指標設定の理由・考え方		単位	平成26年度	平成27年度	目標値
商工会会員数			補助対象		人	886	862	862
補助団体数			補助実績		団体	6	6	6
成果指標			指標設定の理由・考え方		単位	平成26年度	平成27年度	目標値
産業祭来場者数			地域産業の振興		人	2,000	3,076	4,000
リフォームお助け隊相談数			工業の振興		件	29	25	30

3 平成27年度までの事業分析及び改善点

評 価 5段階とその理由を記入(A:高い B:やや高い C:普通 D:やや低い E:低い)			
必 要 性	町が実施する必要があるのか	A	観光客誘致事業など観光振興の発展に資するほか、技術者の発掘や育成指導など工業振興に資するため町で行う必要がある。
効 率 性	投入した費用に見合った効果が得られているか	A	産業祭には町内外の方が来場され、集客・消費拡大につながっている。 リフォームお助け隊事業は隊員の増強による事業の充実が図られている。
有 効 性	事業の目的に対して成果が得られているか	A	産業、工業の地域振興につながっている。
公 平 性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	A	受益の機会は均等である。

平成27年度までの改善点	
--------------	--

4 見直し及び改善

平成28年度の見直し及び改善 (実績または予定)	特になし
平成29年度以降の方向性	地域商工業の活性化を図る趣旨から、引き続き助成したい。

5 一次評価(平成29年度以降の方向性に対する評価)

総 合 評 価	継続(現状維持)	引き続き、商工業の振興、活性化のため事業の実施に努めること。
---------	----------	--------------------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

・特になし

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総 合 評 価	継続(現状維持)	
---------	----------	--

平成28年度事務事業評価シート

平成28年6月30日作成

事業番号	1085		担当課等		観光課						
事務事業名	地域振興事業補助金										
予算科目コード	会計	01	款	06	項	02	目	02	事業開始年度	平成	年度

1 事業概要(平成28年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策
P41 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	1 魅力と活力にあふれるにぎわいのあるまちづくり	Ⅱ 地域産業の振興	1 商業・サービス業	(2) 団体活動の活性化と人材育成	① 商工業関連団体間の提携・交流強化
関連する個別計画					
目的	「担々やきそば」の普及促進に係る経費と商店街が行う事業のうち観光振興に特に寄与する事業に補助するもの。				
対象	地域商店街				
内容	次の事業等に対して補助を行う。 ・「担々やきそば」の普及促進に係る経費 ・温泉場商店会が開催する「灯りの祭典」事業 ・地域商店街活性化事業で実施する、「あったか湯河原」の「自慢の逸品」を食べ歩きできる事業				

2 実施結果

(単位 円)

コスト		区 分	平成26年度(決算)	平成27年度(決算)		平成28年度(見込)		
		事業費	600,000	700,000	800,000			
		人件費	常勤職員	805,000	761,900	749,400		
			非常勤職員等					
			人件費合計	805,000	761,900	749,400		
		総事業費	1,405,000	1,461,900	1,549,400			
財源内訳		国庫支出金						
		県支出金						
		地方債						
		その他特定財源						
		一般財源	1,405,000	1,461,900	1,549,400			
		財源合計	1,405,000	1,461,900	1,549,400			
活動指標			指標設定の理由・考え方		単位	平成26年度	平成27年度	目標値
商工会会員数			補助対象		人	886	862	862
補助団体数			補助実績		団体	6	6	6
成果指標			指標設定の理由・考え方		単位	平成26年度	平成27年度	目標値
灯りの祭典来場者数			地域振興		人	—	5,000	5,000
担々やきそばイベント出店数			地場産業の振興		件	18	18	18

3 平成27年度までの事業分析及び改善点

評 価 5段階とその理由を記入(A:高い B:やや高い C:普通 D:やや低い E:低い)			
必 要 性	町が実施する必要があるのか	A	地場産業の振興や観光客誘致事業など観光振興の発展に資するため。
効 率 性	投入した費用に見合った効果が得られているか	A	商店街や商工会会員による新規イベントを開催し、集客、消費拡大を図っている。
有 効 性	事業の目的に対して成果が得られているか	A	各種事業を実施することにより、観光振興につながっている。
公 平 性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	A	受益の機会は均等である。

平成27年度までの改善点	
--------------	--

4 見直し及び改善

平成28年度の見直し及び改善 (実績または予定)	観光振興に特に寄与する「灯りの祭典」事業の拡充を図るため、補助金額の増額をした。
平成29年度以降の方向性	地域振興を図る趣旨から、引き続き助成したいと考える

5 一次評価(平成29年度以降の方向性に対する評価)

総 合 評 価	継続(現状維持)	引き続き、地域商店街の振興のため事業を実施すること。
---------	----------	----------------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

・必要性は理解できるが、事業内容を再度検討すること。

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総 合 評 価	継続(見直し)	事業内容を再度検討
---------	---------	-----------

平成28年度事務事業評価シート

平成28年6月30日作成

事業番号	1231	担当課等	観光課							
事務事業名	創業支援事業補助金									
予算科目コード	会計	01	款	06	項	02	目	02	事業開始年度	平成 28 年度

1 事業概要(平成28年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細 施 策
P41 ゆがわら2011プラン 後 期 基 本 計 画	1 魅力と活力にあふれるにぎわいのあるまちづくり	Ⅲ 勤労者対策の推進	1 雇用対策	(1) 就業の促進	⑤ 若年者、女性等による創業の支援
関連する個別計画					
目 的	創業セミナーを開催することにより、起業を目指す方を掘り起し、町内における起業を促進し、や起業の場として、町内の空き店舗の利用促進を図る。				
対 象	起業を目指す方				
内 容	商工会と連携し、新たに起業を目指している方を応援するため、税理士・中小企業診断士などを講師に迎え、経営・財務・人材育成・販路開拓など創業に必要な基礎知識について習得するセミナーを開催する(1/2補助)。				

2 実施結果

(単位 円)

コスト	区 分		平成26年度(決算)	平成27年度(決算)	平成28年度(見込)		
	事業費		0	0	100,000		
	人件費	常勤職員			749,400		
		非常勤職員等					
		人件費合計	0	0	749,400		
	総事業費		0	0	849,400		
財源内訳	国庫支出金						
	県支出金						
	地方債						
	その他特定財源						
	一般財源		0	0	849,400		
	財源合計		0	0	849,400		
活動指標			指標設定の理由・考え方	単位	平成26年度	平成27年度	目標値
セミナー開催数			基礎知識の提供	回	—	—	5
成果指標			指標設定の理由・考え方	単位	平成26年度	平成27年度	目標値

3 平成27年度までの事業分析及び改善点

評 価 5段階とその理由を記入(A:高い B:やや高い C:普通 D:やや低い E:低い)			
必 要 性	町が実施する必要があるのか		
効 率 性	投入した費用に見合った効果が得られているか		
有 効 性	事業の目的に対して成果が得られているか		
公 平 性	事業の目的に対して受益の機会が均等か		

平成27年度までの改善点	
--------------	--

4 見直し及び改善

平成28年度の見直し及び改善 (実績または予定)	
平成29年度以降の方向性	空き店舗の利用促進を図る趣旨から、引き続き助成したいと考える。

5 一次評価(平成29年度以降の方向性に対する評価)

総 合 評 価	継続(現状維持)	引き続き、起業を目指している方を応援するため、事業を実施すること。
---------	----------	-----------------------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

・セミナーの開催地を町内だけでなく、町外でも実施できるように検討。

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総 合 評 価	継続(現状維持)	
---------	----------	--

平成28年度事務事業評価シート

平成28年6月30日作成

事業番号	1258	担当課等	観光課							
事務事業名	「made in ゆがわら」認定事業									
予算科目コード	会計	01	款	06	項	02	目	02	事業開始年度	平成 28 年度

1 事業概要(平成28年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細 施 策
P34 ゆがわら2011プラン 後 期 基 本 計 画	1 魅力と活力にあふれるにぎわいのあるまちづくり	I 基幹産業の振興	1 観光	(1) 観光資源の拡充・整備	③ 名物料理・商品の開拓
関連する個別計画					
目 的	湯河原町の地域資源を活用し、湯河原ブランドの確立により町のイメージアップと産業振興を図り、町経済の活性化を目指す。				
対 象	地域事業者				
内 容	「made in ゆがわら」としてブランド認定するための委員会の設置。				

2 実施結果

(単位 円)

		区 分	平成26年度(決算)	平成27年度(決算)	平成28年度(見込)	
コスト		事業費	0	0	275,000	
	人件費	常勤職員			749,400	
		非常勤職員等				
		人件費合計	0	0	749,400	
		総事業費	0	0	1,024,400	
財源内訳		国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他特定財源				
		一般財源	0	0	1,024,400	
		財源合計	0	0	1,024,400	
活動指標		指標設定の理由・考え方	単位	平成26年度	平成27年度	目標値
成果指標		指標設定の理由・考え方	単位	平成26年度	平成27年度	目標値

3 平成27年度までの事業分析及び改善点

評 価 5段階とその理由を記入(A:高い B:やや高い C:普通 D:やや低い E:低い)			
必 要 性	町が実施する必要があるのか		
効 率 性	投入した費用に見合った効果が得られているか		
有 効 性	事業の目的に対して成果が得られているか		
公 平 性	事業の目的に対して受益の機会が均等か		

平成27年度までの改善点	
--------------	--

4 見直し及び改善

平成28年度の見直し及び改善 (実績または予定)	
平成29年度以降の方向性	「made in ゆがわら」認定審査委員会を設置し、基準等の策定をしたい。

5 一次評価(平成29年度以降の方向性に対する評価)

総 合 評 価	継続(現状維持)	引き続き、「made in ゆがわら」の確立に向け、認定基準の策定等事業を確実に実施すること。
---------	----------	---

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

・特になし

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総 合 評 価	継続(現状維持)	
---------	----------	--